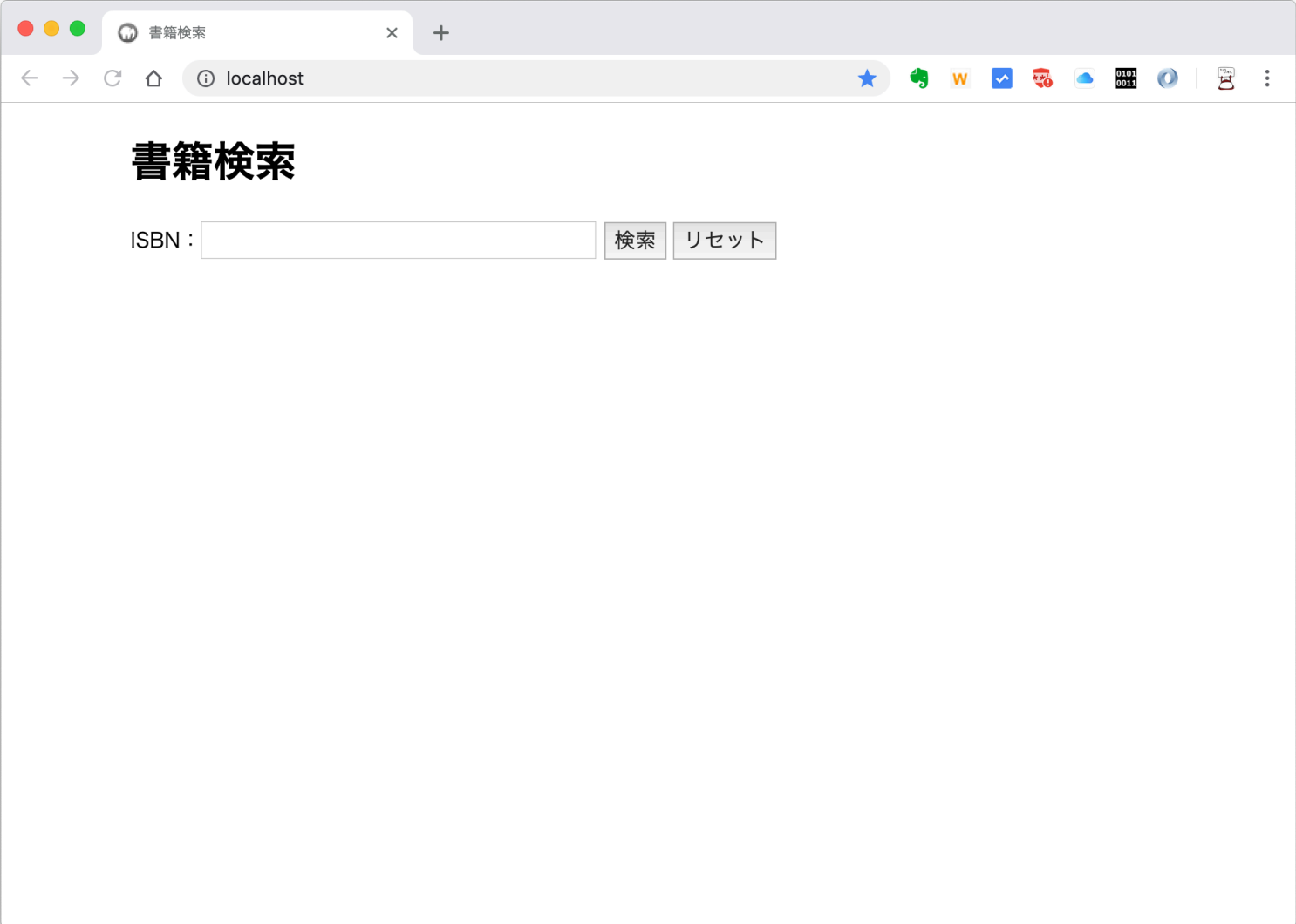


書籍検索

初期表示



The screenshot shows a web browser window with a single tab titled "書籍検索". The address bar displays "localhost". The page content includes the title "書籍検索" and a search form with the label "ISBN :", an input field, and two buttons: "検索" (Search) and "リセット" (Reset).

書籍検索

ISBN :

検索 リセット

書籍検索

検索結果表示 1

書籍検索

localhost

書籍検索

ISBN :

検索

リセット

検索結果

ISBN	4897978858	
タイトル	いきなりはじめるPHP	
サブタイトル	ワクワク・ドキドキの入門教室	
著者	谷藤賢一	
出版日	2011-12	
説明	プログラミングは全く初めての人、他の入門書で挫折しちゃった人、つまづく所はみんな同じです。そこを徹底分析したメソッドで、全員ゴールに辿り着ける入門教室が秋葉原にあります。1日でWeb画面と簡単なDBまで作れるようになるとってもユニークな速習コース。その方法を1冊に凝縮した本書なら、いきなりの初心者でも、無理せず楽しくPHPとMySQLのエッセンスを習得できます。	

書籍検索

検索結果表示 2

書籍検索

ISBN :

検索 リセット

該当の書籍がありませんでした

書籍検索

仕様

- 初期表示は、検索フォームのみが表示されます。
- テキストボックスに「ISBNコード」を入力して、該当の書籍があれば、書籍の情報を表示します。（検索結果表示1）
- 該当の書籍がなければ、「該当の書籍がありませんでした」と、表示します。（検索結果表示2）

書籍検索

ヒント1：ISBNコードとは？

- 「International Standard Book Number」＝国際標準図書番号の略称。書籍を世界共通で特定するための番号です。
- 日本では、これを基準に日本図書コードとして使用しています。
- 現在、ISBNは計13桁の番号で構成されていますが、2006年までは計10桁でした。（10桁から13桁に移行されています）
- 10桁のISBNは13桁のISBNに変換することができます。
- ISBNは、全世界で一意です。（重複していません）

書籍検索

ヒント2：書籍検索の実装方法

- 「Google Books API」を使い、書籍情報を取得します。

<https://developers.google.com/books/?hl=ja>

Google Books APIのURL

[https://www.googleapis.com/books/v1/volumes?q=isbn:\[10桁または13桁のISBNコード\]](https://www.googleapis.com/books/v1/volumes?q=isbn:[10桁または13桁のISBNコード])

例)

<https://www.googleapis.com/books/v1/volumes?q=isbn:9784897978857>

→ブラウザでアクセスできます。

- 情報は「JSON」という形式で取得できます。

JSON (JavaScript Object Notation)

ファイルとして保存するときの拡張子は.json、テキストファイルです。

書籍検索

ヒント 3 : PHPで外部のリソース（ファイルやデータ）を取得する方法

- `file_get_contents()`関数を使います。

<https://www.php.net/manual/ja/function.file-get-contents.php>

例)

```
$url = "https://www.googleapis.com/books/v1/volumes?q=isbn:9784897978857";  
$json = file_get_contents($url); // $jsonにはJSON形式のデータ（文字列）が入っています
```

書籍検索

ヒント4：PHPでJSON形式のデータを連想配列に変換（デコード）する方法

- `json_decode()`関数を使います。

<https://www.php.net/manual/ja/function.json-decode.php>

例)

// `json_decode()` の第2引数を`true`にすることで、連想配列に変換されます。

`$data = json_decode($json, true);` // `$json`にはJSON形式のデータ（文字列）が入っています。

// `$data`にはJSON形式の文字列を連想配列に変換したデータが入っています。

// `$data`の中身を確認

```
echo '<pre>';
```

```
var_dump($data);
```

```
echo '</pre>';
```